| 科目ナンバリング | U-LAS23 20001 SO48 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 中国語IIA [文法・文化理解] C212<br>Intermediate Chinese A [Grammar, Cross-cultural understanding] | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 前田　尚香 | | |
| 群 | 外国語科目群 | 分野(分類) | | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2025・前期 | 曜時限 | 金5 | 配当学年 | ２回生以上 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

中国の著名な劇作家、曹禺の代表作『雷雨』を講読する。1934年発表のこの作品は、新劇作品の中でも最も上演回数の多い作品の一つで、中華民国時代の鉱山事業主の家庭に起こる悲劇を描いている。その芸術性と社会背景なども考察しながら、よく使われる口語表現を中心に中国語のレベルアップを目指す。

**[到達目標]**

・総合的なレベルアップを目指す。特に北方で実際に使用される口語表現に重点をおいて学ぶ。
・作品を通して、当時の社会背景や風俗習慣に対する理解を深める。

**[授業計画と内容]**

『雷雨』は比較的長編の劇本で全四幕の構成であるが、このうち第二幕を中心に講読する。

第１回　イントロダクション（作品や作者に関する説明など）
第２回　第一幕の解説と講読（第一幕の一部分を読んでみる）
第３回　第一幕の内容の確認（DVDなどで実際の舞台の様子を見て第一幕の概況を理解する）

第４～14回　第二幕の講読
（毎回、配布テキストの２、３ページ分を読み進めてゆく。第二幕の三分の一程度を読み進めてゆく予定。文法や語彙に注意しながら、原文の表現と内容を毎回しっかり把握できるようにする。作者に関する説明も補足する。）

≪期末試験≫
第15回　フィードバック期間（DVDなどで第二幕の舞台上映を見て、第二幕の内容を総括する。）

なお、以上は履修者の習熟度などにより若干変更する場合がある。

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

学期末試験の成績（70%程度）に、平常点（30%程度）を加えて評価する。平常点は、主にテキストの日本語訳や課題についての発表で、既定の回数の発表ができなかった場合や、発表が一定レベルに達していなければ減点の対象とする。

中国語IIA　[文法・文化理解] C212(2)へ続く↓↓↓

中国語IIA　[文法・文化理解] C212(2)

[教科書]

授業中にプリント等を配布。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

履修生は毎回予習が必要。単語を注意深く調べ、自分で訳文を作ってくること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]